令和８年度第１回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
自主運行バス運賃等分科会　議事概要

■開催日時　　令和８年１０月１４日（水）
午後４時００分～午後４時３０分

■開催場所　　伊賀市役所　５階　501会議室

■出席者　（敬称略）
【委員】
福岡　秀明（伊賀市地域力創造部長）
川北　幸宏（三重交通株式会社伊賀営業所長）
森　慶之（中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）
西口　馨（島ヶ原まちづくり協議会会長）

【事務局】
地域力創造部　藤田次長
公共交通課　　森地課長、中川係長、岡本

■傍聴人：２人

■会議概要
１．開会
公共交通課　森地課長

２．役員の選出について
資料１に基づき説明

委員	事務局一任

（事務局案）提示

分科会長	福岡　秀明（伊賀市地域力創造部長）
副分科会長	森　慶之（中部運輸局三重運輸支局 首席運輸企画専門官）

【質疑応答】なし

〈承認〉

３．協議事項

・三重交通バス路線運賃値上げに伴う伊賀市自主運行バスの運賃について
資料２―１　資料２－２に基づき説明。

【質疑応答】

委員（島ヶ原まちづくり協議会）	今回のご提案で、廃止代替バスについては、運賃が変わっても、分科会での協議は不要ということは、我々の役割は、コミュニティバスの運賃だけを協議するのですか。
事務局	役割としては、道路運送法第４条で、いわゆる三重交通が運行している路線バスの中でも、伊賀市がコミュニティバス「にんまる」や青山行政バスのように、三重交通に委託をしているものについてはこの運賃等分科会で、100円を300円に上げる、300円を500円に上げるかといった議論をする必要があります。しかし、今回の議題については、三重交通の距離制運賃ということで、距離によって変わってきますので、コミュニティバスの方針とは、少し体系が違います。三重交通が、運賃を上げる場合は、上限があり、上限を超えない範囲であれば、運賃改定に関与することは出来ませんので、距離制運賃については、今後はこういった分科会を開かず、三重交通にお任せするといった趣旨です。今回承認いただきましたら、今後の分科会は不要ということになります。 しかしながら、伊賀市のコミュニティバス「にんまる」や青山行政バスの議論になりますと、この分科会を開催して、300円で良いのか、100円で良いのとか等、そういった議論をここで行う必要があります。
委員（運輸支局）	廃止代替バスについては、当時三重交通が、営業路線として必要なものとして、地域で走らせていましたが、利用者が少なくなってきましたので、営業路線としては継続できないので、廃止しますといった意思表示があったものになります。しかし、地域から残して欲しいといった要望があり、伊賀市が三重交通に委託をすることで、今まで通り走らせている状況です。ただ、現状ほとんど人が利用していない路線であり、今後、このままで良いのかについては、先程の地域公共交通活性化再生協議会での議論が必要ということで、皆さん認識しているところだと思います。 したがって今回、タイトルにあります自主運行バスについては、三重交通が走らせたくて走らせているものではなく、地域からの要望があり、伊賀市としても引き続き必要で、継続

	して残していきたいといった路線になります。それに、伊賀市のコミュニティバスではないという記載はありますが、コミュニティバス「にんまる」や行政バスのような位置付けに近いと考えています。 今回の議論としては、三重交通の運賃が値上げすることに応じて、この廃止代替バスの５路線についても、同時に値上げすることに関して議論していきましょうということです。 そうなってくると、伊賀市の財政を負担して走らせていますので、今まで通り、三重交通の運賃だから議論なしで良いのかというところはあります。
委員（島ヶ原まちづくり協議会）	伊賀市の負担が膨らむから、それを縮小するために、伊賀市の視点で値上げをするという意味合いだと思っていました。それに、負担額の軽減の上昇率を下げるために、運賃収入を上げるということなのかなと思っていました。そうすると、三重交通というよりも、伊賀市の負担額を軽減するための値上げなのか。そうではなく、三重交通としての負担額を軽減するための値上げなのか。伊賀市の取り分と三重交通の取り分の比率がどうなっているのかは、我々分からないものですから、そのあたりを聞かせてください。 この提案についての異論はないです。
事務局	おっしゃってくれているとおり、三重交通の年間支出の経費があり、そこから収入を差し引いた分の全額を伊賀市が補填しています。要は収入が上がると、その分経費は下がりますので、支出が上がっているなかで、収入も上がるのかというところで、収入が上がったら負担も減ってきますということとになります。
委員（島ヶ原まちづくり協議会）	そうすると、欠損補助のための値上げですか。
事務局	欠損を少なくするための運賃改定ということになります。 毎年最終で精算を行います。その際に、収入と支出が出てきますので、その赤字分を伊賀市が補填するというかたちになります。
委員（島ヶ原まちづくり協議会）	運転手の担い手も少なくなってきますし、人件費もかなりかかってくるでしょうし。
委員（三重交通）	正直これだけ人口減少や少子化が重なると、利用者が増える可能性はゼロに近いです。

	やはり路線バスといった公共的なものは残していかないといけないという使命感もあります。伊賀市の負担というよりも、自分たちの路線を値上げしますので、これについても同等の率で、運賃の見直しを図っていきたいと考えています。
分科会長	他にないようでしたら提案通り承認とさせていただきます。

〈承認〉

４．その他

委員（島ヶ原まちづくり協議会）	やぶっちゃランドという名前は、すでにありません。 今は島ヶ原温泉やぶっちゃという名前です。 時刻表が古いままになっているのは、なぜか気になっていました。
委員（三重交通）	例えば、病院や公共の施設の名称が変わった場合、その時に大きな影響があるところは変えていますが、そこは、おそらく変わってから、手付かずでそのまま放置状態だと思います。しかしながら、我々の運転手もそうですが、ご高齢の方は昔の名前を言う場合もありますし、施設の方から名称を変えてくださいという声がないと、なかなかこちらとしては動けませんので、機会があれば新しい名前にする等を検討したいと思います。

（終　了）